

放射性腐食生成物

放射性腐食生成物 ほうしゃせいふしょくせいせいぶつ

放射能をもつ腐食生成物である。代表的なものとして、軽水炉における放射性のクラッド（crud）がある。原子炉冷却系に接している金属が、腐食によって溶出した成分（主にFe、Coなど）が、原子炉冷却水流に乗って炉心を通過する間に放射化され、原子炉冷却系の内面に沈滞する。化学的には、ヘマタイトやマグネタイトで、放射能的にはCo-60などが主成分である。

<登録年月>

1998年02月
